

価格底入れの動きが世界的に広がった。ただ、先行き上昇基調が続くかは流動的。アドバンストマテリアルジャパンの松村洋・合金鉄部部長は「モリブデンを巡っては、上昇材料と下げ材料が交錯しており、先行きは依然として不透明」と指摘する。供給カット勢となっている。

モリブデン国際価格 2カ月ぶり反転

生産サイドで供給カットの動き

特殊鋼・ステンレス原料、モリブデンの国際相場が下げ止まった。同価格は今年3月以降、それまでの急上昇の反動から、下げ足を速めていた。ここにきて生産サイドで供給を絞る動きが出てきたことで、先安観が後退した形だ。ただ、ステンレス向け需要は依然力強さを欠いており、

上昇基調が続くかは流動的。

三酸化モリブデンの国際価格は先週末から今週にかけて上昇。足元の価格水準は22ドル（モリブデン純分価格）で推移しており、直近の最安値に比べ約30%値を上げた。上昇は約2カ月ぶり。ただ、直近の高値と比べると依然5割強の水準にとどまっている。

上昇の引き金となったのが中国市場での値上げの動き。同国では、モリブデン生産者の供給カットなどにトレーダーやステンレスメーカーが反応したこと、一気には上昇に転じた。中国市場での潮流変化を受けて、チリの有力サプライヤーが値上げを打ち出すなど、

